

平成20年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		財団法人 武蔵野市福祉公社						
①	指標名	20年度 成年後見新規受任			目標値	10人	実績値	17人
	過去の実績 (単位: 人)	平成17年度	平成18年度	平成19年度	達成率	170.0%	達成状況	未実施・未達成・ <u>達成</u>
		5	5	2				
	取組内容	※21年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 福祉公社は、ソーシャルワーカーと看護師による身上配慮サービス（基本サービス）と権利擁護事業による財産管理サービスにより、事実上の後見サービスを利用者に提供していた。しかし、利用者本人の判断能力によりその支援制度を選択することが、最も本人保護に資する方策であるので、利用者の心身状況を精査し、積極的に成年後見申立を行った。もとより、東京家庭裁判所からの評価は高いので、その申立のすべてにおいて後見人に選任された。市長による成年後見申立についても、その候補者となり、市におけるセーフティネットの機能を果たしている。						
一次評価	・積極的に成年後見申立を行ったことにより目標を達成した。 ・市におけるセーフティネットの機能を今後も発揮する。							
二次評価	目標値10人に対して17人という実績は評価できる。今後も積極的に制度の周知に努め、成年後見の受任拡大を図っていくこと。							
②	指標名	経常収支比率の改善			目標値	95.0%	実績値	90.1%
	過去の実績 (単位: %)	平成17年度	平成18年度	平成19年度	達成率	94.8%	達成状況	未実施・ <u>未達成</u> ・達成
		96.9	96.3	93.8				
	取組内容	※21年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①有償在宅サービス事業の見直しによる料金体系変更の検討、また成年後見事業の拡大による後見報酬等の収入増など、事業収入の増加を図る。②事業経費の削減の検討を行う。 ③事業の再編、新規事業の検討の中で、市民ニーズに沿い、市から補助金や委託料を得られる公益性のある事業を創出する。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 有償在宅福祉サービスと権利擁護事業の統合を行ったが、料金体系の変更まで手がつけられなかった。また成年後見事業については、後見報酬の大幅な収入増により目標を達成した。事業経費の削減のためには今後、より細かな精査と努力が必要である。							
二次評価	過去の実績及び目標値から大幅に下回る実績値となっており、早急の改善が求められる。一次評価にもあるが、料金体系の変更等を検討し、目標を達成できるよう努力すること。							
③	指標名	職員研修のさらなる充実（専門研修・視察研修除く）			目標値	300人	実績値	211人
	過去の実績 (単位: 人)	平成17年度	平成18年度	平成19年度	達成率	70.3%	達成状況	未実施・ <u>未達成</u> ・達成
		256	121	265				
	取組内容	※20年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①特定の職種、職域にかかる専門的研修以外の全ての職種の職員等が受講可能な研修を指標対象とする。 ②研修効果に疑問が残る視察研修を指標の対象外とした。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 全職員にとって必要な苦情処理、セクハラパワハラ等の研修の実施、さらに通信教育費の助成等により、職員の向上心を高めた。しかしすべての研修内容が必ずしも職員の使命感を高め、かつ、参加意欲を高めるものではなかった。							
二次評価	将来の団体経営を担う人材育成を強化するため、市・団体間の人事交流による研修や団体内における職員研修を強化し、中長期的な視点を持って、より有効な研修を行うこと。							